

信濃の国縦断 事業所めぐり



第34号

平成29年2月28日

発行

NPO法人長野県介護支援専門員協会
会員数1,451名(H29年1月末現在)
〒380-0928長野市若里7丁目1番7号
長野県社会福祉総合センター5F
TEL: 026-268-1366
FAX: 026-268-1367
E-mail: nacm@tuba.ocn.ne.jp

印刷

龍共印刷株式会社



豊田・飯山インターから車で5分ほどのところに有会社ゆりかごがあります。2年前にゆりかご創立10周年を迎え職員一同この先の20周年を見据えて団結し、毎日利用者さんと向き合っています。

居宅、グループホーム、デイサービス、ヘルパー、介護タクシーがありその中で今回はグループホームを紹介いたします。

グループホームゆりかごは定員9名で要介護1～要介護5の方が入所されています。



おかげさまで10周年
ご利用者の笑顔とともに

喜んでいただいています。楽しく、笑顔で過ごせる日を1日でも多く利用者さんに届けられたらと思います。今後もしっかり取り組んでいきたいです。



中でも99歳の方が2人もおり、この2月に元気に誕生日を迎えられました。グループホーム開所当時から10年あまりADLがほぼ変わらず、身の回りのことを現在も自分でおこなっています。

ご自身の努力とご家族の素晴らしいサポートの賜物だと感じていると、ご本人とご家族からは「スタッフの皆さんに良くしてもらっているおかげです。」と言っていた。だき今後もこの言葉を励みにしてがんばっていきたいと思います。

2月はやしうま作りを行い、毎月季節にあわせた行事をして、利用者さんに

有限会社ゆりかご
飯山市静間2900-2
☎0269-81-3888



★今回より投稿による身近な出来事やちょっとしたぶやきを掲載することになりました。皆さんもどしどし投稿してください!!

理事会報告

平成28年2月11日

第1回目の災害対策検討部会が開催されました

各支部からの代表と担当理事が集まり、災害時、介護支援専門員として何ができるか、日本協会で2月に開催された「災害支援ケアマネジャー養成研修会」の報告を受け、県や市町村と顔の見える関係づくりの重要性、本会としての取組等について話し合いがされました。来年度は、前期には全体で災害についての研修会を開催し、その後各ブロック単位で意識を高めると共に行政との関係性を深めていけるような取組をしていこうと団結しました。

第2回支部長会が開催されました

各支部からの活動報告があり、それぞれの支部が、医師会、薬剤師会、歯科医師会等、職能団体と連携を図りながら研修会を開催されている様子を共有しました。役員の交代の困難さ、会員確保について、各地域にある部会と職能団体

のメリットの違いなどの問題が挙げられ、これらの問題の理解・解決と日本協会加入の必要性も含め職能団体としての在り方について十分な説明の必要性を理事会に投げかけました。

第2回総務委員会が開催されました

各委員会から事業報告を受け、活動について共有し、今後も各委員会が連携しながら活動していくことを確認しました。

第6回理事会が開催されました

NPO法人としての活動の在り方（日本協会への加入推進を含む）について定款・細則について再検討をすると共に、今後の方向性について話し合いがされました。来年度NPO法人設立10周年を迎えるにあたり、総会に合わせて開催される式典、基調講演について検討されました。

※総会は平成29年5月20日（土）岡谷カノラホールにて開催が決定しています。基調講演について詳細が決まりましたら、ホームページ等でご連絡します。

施設ケアマネ研修

平成29年1月28日に松本市浅間温泉文化センターにて、神奈川県介護支援専門員協会副理事長の松川竜也氏を講師に迎え、施設ケアマネ向け研修を行いました。

施設ケアのマネジメントの目的、計画担当介護支援専門員に求められる役割、計画担当介護支援専門員が発揮する機能等、現場での経験を活かした講義、監査員の目線から見たケアプランや記録のあり方について説明がありました。

今日の実地指導では、ケアプランの中身を確認しながら、評価内容を見ていくようになっていく話がありました。居宅だけでなく、施設ケアのマネジメントも内容が問われるようになっていくことを知る機会になりました。



ケアプランは立て

るだけではなく、実践、評価されることが重要になります。立てたケアプランが現場で実践されていることで、ケアプランの内容があっているのか、間違っているのか評価していかなければいけない、それが、ケアマネジャーの役割であることを再認識する機会になりました。

現場で実践されるケアプランを作成するため、ケアマネが立てるケアプランとは別に、具体的行動、個別サ

ビス計画を介護職が作成していく手法の提案がありました。

ICFからみた介護予防のアクセスメントの視点について、ICFの表に、アクセスメントした情報を記入し、できていること、できていないことに分類する手法の説明がありました。アクセスメント表は、事業所で異なっていますが、集めた情報をICFの表に落とし込み、分類することで、課題



が見えやすくなると感じました。参加に視点を向け、本人のできることを活用することで、生活の課題が改善していく姿がとても分かりやすいと思いました。

施設入所をする、家族と離れてしまうケースが多くあります。家族に状況を説明するだけではなく、現実を知ってもらう機会を作るアプローチも大切であることを知りま

資質向上研修

した。また、ケアプランに本人の役割、家族の役割を記入することで、施設入所後も家族が離れることのないサービスが展開されていくものになることを再認識しました。

在宅で生活できない方が、施設に入るだけで、生活に困っていた方を助けることができていることに自信を持ち、その上で、利用する本人にとって、必要なサポートを考えていくことが、施設ケアマネの必要な視点であることを再認識させてもらう機会になりました。

先日2月9日(木)に、大谷直史氏(鹿教湯三才山病院居宅介護支援事業所統括所長)を講師に、塩尻市総合文化センターにて行われた、資質向上研修会に参加してきました。

「その方の思いと自立の視点に立ったケアマネジメント」その人らしくあり続けるために」との題目で行われたこの研修会は、雪の降る生憎の天気となってしまいましたが会場は満員でありました。

午前中は、介護支援専門員



としてのアセスメントの視点ととらえ方をおさらいしながら、自立の支援、利用者本位とは何か?を学びました。

つついその人の病気や身体状況に視点が向きがちになり、『步ける、食べる、転ばない』のような、安全の欲求や生理的な欲求ばかり支援をしようとする「安全管理やこうしないといけない(指示的)」といったプランになってしまいうこと。本来ならば、その先の、「利用者さんが満足する姿(自己実現)」を見つけないければいけないのにそこを見落としてしまいがちになっていることを再確認しました。

午後には、プランニングに作成に必要な視点として、事

例を使い講義をしていただきました。

グループワークの中で、事例の利用者とその家族に「皆さんなら何を聞きたいか?」という演習では、事例の家族に扮した研修委員会のメンバーにグループごと質問をしていくといった嗜好がありとても盛り上がりました。実際ケアマネージャーとして利用者さんに接しているんだと先輩方の様子が垣間見え、とても参考になりました。

この研修を通じて、利用者さんの介護度や身体、病気にばかり目を向けるのではなく、その方の過去、現在、未来の暮らしの姿に目を向け、その方の満足できる暮らしを提案していけるような支援ができるように日々意識しながら業務にあたりたいと感じました。



ケアマネット掲示板

研修委員会

各委員会での活動について報告

1月に松川竜也先生をお招きし「多職種連携と施設ケアマネの役割」についてご講義頂きました。110名の方にご参加いただき、大変、好評のうちに研修を終えることができました。多くのご参加ありがとうございました。

研修などの開催告知

来年度の研修会開催に向け、現在、計画中です。研修会の開催日程は、ホームページにて順次告知していきますのでご確認下さい。多くの方のご参加をお待ちしております。

詳細決まり次第お知らせします。是非ご参加ください。

研究委員会

各委員会での活動について報告

現在、5月20日の定期総会での学術大会開催に向けて準備を進めております。

研修などの開催告知

5月20日岡谷カノラホールにて長野県介護支援専門員協会定期総会の開催後、実践事例・学術研究発表会を開催しますので、是非多くの方にご参加いただきたいと思いますので宜しくお願いします。

調査委員会

委員会アンケートへのご協力に深謝申し上げます。法改正に向けてご協力を賜る際には何卒宜しくお願い致します。

特集

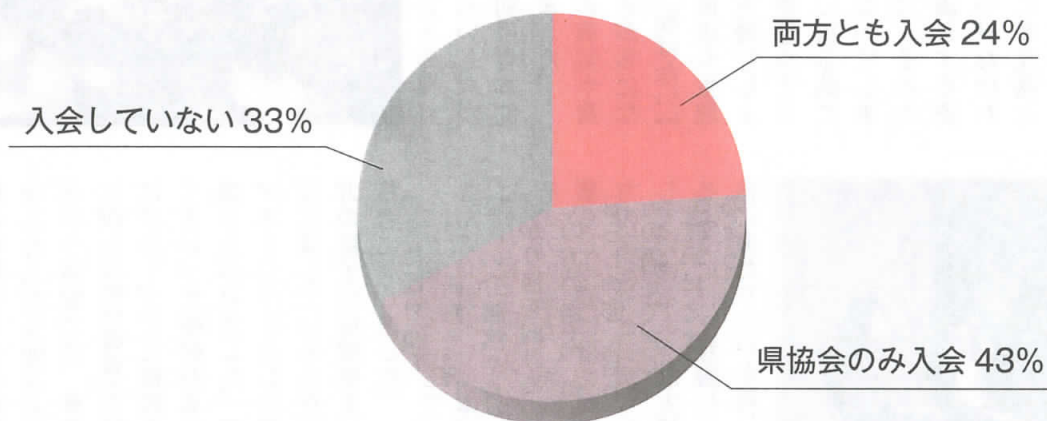
『日本協会加入に関する実態調査』

今年度、県協会総会にて県協会会員の皆様に日本協会への同時入会の必要性が報告されました。しかし、現在、会員への理解があまり認知されず、なかなか入会数が増えていかない現状があります。

今回、事前のアンケートを通じて入会されている方、されていない方それぞれの意見を集計して今、なぜ日本協会との同時入会が必要かを検証して日本協会、県協会への入会への理解を広めて会員の増加につなげていきたいと考えて特集記事を組んでみました。

質問Ⅰ

現在、介護支援専門員協会に入っていますか？（回答数413）



【両方とも入会】の意見のまとめ

「両方とも入会することが必須と感じたから」「県協会の意見が反映されると感じたから」「自分たちの意見を国に届けことが大事と感じたから」といった自分たちで積極的にケアマネとして意見をもっと国へ届けていこうとする意見がありました。

他には「より多くの情報が得られるから」「研修が安くなるから」「日本協会のメルマガが参考になったから」と県の情報以外のものが得られてケアマネとしてのスキル向上に役立っているといえます。

あと、「研修での小林会長の話に納得ができた」という会長の功績も入会につながっていることもあります。

【県協会のみ】の意見のまとめ

「日本協会に入会する必要性、メリットを感じない」「県外の研修に行く事ができない」といった意見が多く、県協会の活動のみで十分、または日本協会の活動参加が難しいとのことで自分たちが日本協会への参加機会が得られないことが入会を遠ざけている原因といえます。

【入会していない】の意見のまとめ

「協会に入会する必要性、メリットを感じない」「忙しくて研修に参加できない」「現在、ケアマネ業務を行っていない」「年会費が高い」と理由の種類が非常に広い印象がありました。

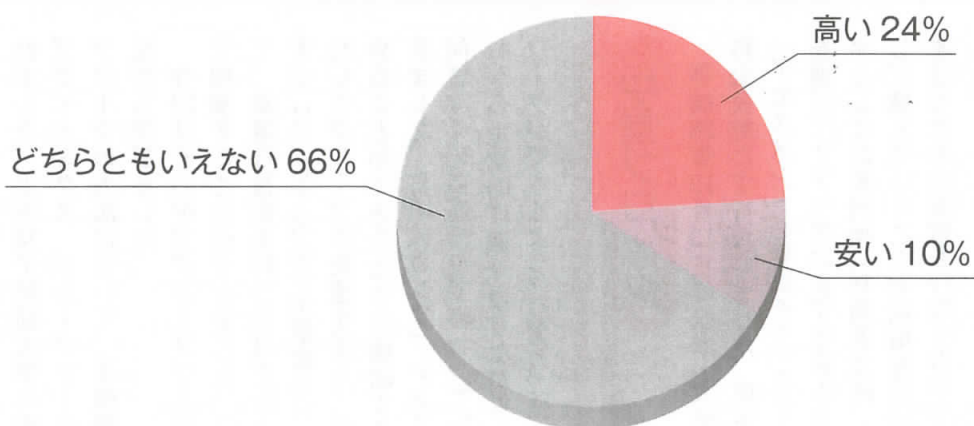
意外な意見としては「入会の仕方がわからない」とのことで、周りの会員がそんな人をサポートして自分たちで会員を増やすチャンスを見つけることも大切ではないでしょうか。

★ケアマネしんどい中にも、時々喜びがあるね。(トランプ)

★まだまだ寒い日が続きますが、体調に気をつけましょう！(カーゴ)

質問Ⅱ

介護支援専門員協会の入会費、年会費の金額について
どう思いますか？（回答数318）



会費については会員の方々は判断に悩まれている方が多いようです。元々、入会して元職の協会（介護福祉士会や看護協会など）にすでに入会している方が多いため、「元職の協会に入会しているのにケアマネット協会の支払いまでできない」といった意見も多く見られますが、一概に会費が入会する、しないの理由にはならず、協会の活動内容を見ての判断になるのではないかと推測されます。

質問Ⅲ

介護支援専門員協会に入会してどうでしたか？

（良かった点）

- ・研修内容が良く安く参加できて良かった。
- ・広報誌の情報が多くて良い、支部活動がわかりやすい。
- ・主任ケアマネ更新のための研修が受けることができて良かった。
- ・介護保険の動向を知ることができた。
- ・横のつながりができた。ネットワークを構築して人のつながりが必要と感じた。
- ・県協会の意見を反映させるには日本協会に入ることが必要と感じた。
- ・研修に参加することで気持ちが前向きになれた。

（悪かった点）

- ・日本協会の参加機会がない。東京など遠くて負担がある。
- ・講師が同じになるなどマンネリしているので改善してほしい。
- ・南信に研修がない。2回に分けるなど（例：土が北信、日が南信）して参加しやすくしてほしい。
- ・役員のなり手がいない。
- ・常務理事のように専任の人がいると良い。
- ・組織体系が未熟。

【考察】

今回、多くの意見を寄せていただきありがとうございました。多くの意見はありましたが、そもそも協会とは何か今一度考えてみてはどうでしょうか。他の協会と比べて歴史の浅い協会ではありますが、これからも介護支援専門員は介護保険において高齢者本人、また家族の要望、意見を聞いて各サービス事業所との連携、調整の役割を担っていく大事な立場であることが変わらないと思います。介護保険が国や県と関わっていく以上、私たちが国や県に意見を上げていき、介護支援専門員として立場をより良いものにすることが介護を受ける高齢者や介護をしていく家族を守ることにつながるのではないのでしょうか。

ぜひ皆さんも協会に入会して活動に積極的に参加し、介護支援専門員みんなが仕事にやりがいを感じられる環境を会員ひとりひとりの力で作っていきませんか。

ブロック便り

北信ブロック

北信支部では平成28年12月3日に中野市で資質向上研修会が行われました。上田女子短期大学の市東賢二先生をお招きして「グループダイナミクス グループワークの手法」と題して効果的なグループワークの方法について、3種類のグループワークの手法を体験しながら学びました。

今回はその中でグループワーカー(社会福祉専門職)の役割について理解することができました。グループワークのプロセスにおいて、重要な役割を持つのはグループワーカー(社会福祉専門職)ですが、けっして司会や主催者といったところだけあるのではなく、むしろグループの発達を促し、グループとしての自己決定能力を高めることができるように援助することが大切と教えていただきました。日頃のカンファレンスやサービス担当者会議で何気なく司会進行役で終わってしまうことが多いのでこれから定期的に振り返りながらより有意義なグループワークができるように気をつけていきたいです。

中信ブロック

平成28年12月13日に松本・大北支部の合同研修会を安曇野市明科公民館にて行ないました。県協会の小林会長を講師にお招きして「アセスメントを見直そう」をテーマに研修を実施されました。研修を通じてケアマネはまず社会人としての倫理を持ち、その上でケアマネとしての専門性(利用者主体、公平性、秘密保持など)をスキルとして備えていくことで利用者が『自立』した生活を送るための支援を行なう力がつくと講演されました。

また実際の事例に基づいたケアプランを見ながらグループワークにてケアプランチェックを行い、自立支援に役立つケアプランニングとは何かを勉強することができました。

今回の研修を通じてケアマネとしてアセスメントへの取り組み方を再確認した内容でした。



東信ブロック

平成28年12月18日に信州訪問リハビリネットワーク東信ブロックの主催で第4回多職種連携研修会が行われ、地区の訪看・リハ職が70名ほど、ケアマネも30名ほど参加し、訪問リハビリと訪看15に関するミニレクチャー! シンポジウム・グループワークと盛りだくさんの内容で他職種連携について考える良い機会となりました。

平成29年1月14日に佐久支部、上小支部の合同研修会が行われ、雪にも負けず100名を超える参加者がありました。「他職種連携のあり方、薬剤師との連携を考える」をテーマに佐久薬剤師会理事の岩下誠さんをお招きし、基調講演・シンポジウムにもご参加頂きました。シンポジウムでは、コーディネーターに長野県介護支援専門員協会の小林広美会長、シンポジストには佐久、小諸地域の医師、訪問看護、ケアマネジャーを迎え行いました。地域医療の現状や他の職種と繋がっていく方法、専門職の役割について考える貴重な時間となりました。

南信ブロック

平成28年11月26日に、飯田下伊那歯科医師会と長野県介護支援専門員協会飯伊支部との合同研修会を、飯田市のさんとぴあ飯田で開催しました。

当日は介護支援専門員及び介護事業所の関係者及び歯科医師、歯科衛生士の皆さん約70名の参加がありました。

歯科医師会地域保健部部長の加藤伸吾先生と、同学術部副部長の上沼明子先生による歯科医師との連携の実例に関する発表をしていただきました。研修ではそのほかに訪問歯科診療や訪問口腔ケアの機器などの紹介をしていただき、最後に地区別の懇談会を開催して地元の歯科医師の先生と介護支援専門員との交流を行う事が出来ました。



こんにちはトミです



助けて! センパイ。

新人ケアマネ代表SY2K

(前回のベストアンサー) まずサービス担当者会議を開催する意味を考えてみましょう。居宅サービス計画書の確認、サービス利用における課題、ご本人、ご家族の生活状況の確認などといった情報共有する場であることだと思います。ケアマネが何かを決めるとか考えると変なプレッシャーを感じてしまうのではないのでしょうか。『みんなでこういう形でご本人の支援をしませんか?』という感覚で会議を進めるとみんなの意見が出やすいと思います。 ペンネーム 鬼あられ(松本支部)

質問です



皆さんは耳が遠かったり、目が見にくくなってきている方ともコミュニケーションを取りながら意向を聞いたりしていく中で苦労もあるかと思いますが、そこで、耳の聞こえの悪い方とはこんな道具ややり方をしたら話がスムーズだった!等こんなやり方をしたらコミュニケーション取りづらい人でもスムーズだったよ。

なんて話を頂けるとうれしいです。何卒よろしくお願い致します。

尚、このコーナーでは日頃からこんなこと悩んでいる。こんなこと聞いてみたいと言うことを随時募集しています。

ぜひぜひ相談を送って下さいね。経験豊富な先輩方が悩みに答えてくれると思います。

ご回答の連絡先、E-mail: nacm@tuba.ocn.ne.jp FAX: 026-268-1367

今日のワカバヤシくん

1月場所で稀勢の里が優勝し、長野出身の御嶽海も大活躍。職場や訪問先で相撲の話題で盛り上がる事もあるのではないのでしょうか。相撲の思い出といえば、今は亡き祖母とお茶を飲みながらよくテレビで観たものです。しかしなんだった、長野のお年寄りには爪楊枝を使うのが上手なのではないでしょうか。漬物はもとより、煮物やゼリー(かんてんばば)まで爪楊枝1本を駆使し、時には楊枝を親指中指でガッチリ固定し人差し指で挟む奥義で口に運びます。大皿から小皿に取り分ける時は箸を使うのに…箸を使わせてください!そうそう、相撲開催中は中継時間に訪問出来ない(テレビ観戦のため来客NG) ケースもあったなあ…水戸黄門でもあった。暴れん坊将軍でもありました!



ケアマネさんの

クロスワードパズル



「女の子が生まれると、子供の健やかな成長と幸せを願う飾る。」
正解者の中から3名の方に研修会無料参加券(トミーズ券)を進呈致します。

タテのカギ

1. 冷えたのが原因で病気になること「〇〇あたり」
2. 電気信号の波形を計測する装置のこと
3. この旅は、「前途〇〇〇」だ!
7. 春に変えると良いと言われる。無駄にお金を使わないように「〇〇〇の紐を締める」
8. 食用油など油製品の材料とされ、古代から今日まで世界中で利用される。「〇〇油」
9. 相撲で立ち合いに「〇〇〇」をかける。
12. 寿司屋の隠語。マグロの赤身の寿司のこと。
13. 自分と他人。自分と自分以外の者。「〇〇ともに認める」

ヨコのカギ

2. 育てゆくこと。「自分の〇〇〇〇を語る」
4. 岐阜県の東濃地方に位置し、「人、地域、自然が調和した交流都市」
5. 二十世紀など品種が多い果物
6. サングの一種。乳白色で薄紅色を帯びる。装飾品に加工される。
10. 自分の気持ちや考えをへりくだつという語。「〇〇を申し述べます」
11. 植物の名称。山地に見られ、つるで他に巻きつく。根や茎は、漢方薬になる。
14. 福井県の中中部にあった市。2005年今立町と合併した。〇〇〇市
15. たんばの古名。

<プレゼントクイズ> 応募方法

下記の要領で、長野県介護支援専門員協会事務局宛にメールまたはFAXにてご応募ください。クイズへの応募は1人1回に限り、仕事周辺で起こった出来事や、困りごとがあれば一言お書き添えください。

E-mail: nacm@tuba.ocn.ne.jp
FAX: 026-268-1367

●締め切り/4月10日必着

●解答と当選者/35号紙上

- ①クイズの答え
- ②郵便番号
- ③住所
- ④氏名
- ⑤支部名
- ⑥身近な出来事
- ⑦匿名希望の方はペンネーム

わが街のおすすめスポット

松本支部編

次回は大北支部編です。

安曇野市のおすすめスポット

今回、松本支部が紹介するおすすめスポットは松本市…ではなくお隣の安曇野市にある『たまごの駅』です。私のような卵や鶏肉が好きな方にはたまらないお店です。

安曇野直売店

たまごの駅

安曇野市穂高柏原4568-1 ☎0263-81-1125

平成25年5月にオープンして今年で4年を迎えます。松本市四賀（旧四賀村）にある会田共同養鶏組合から送られてくる新鮮なたまご（内閣総理大臣賞受賞）やたまご、鶏肉のメニューが豊富に揃っています。

一番のおすすめメニューはやはりたまごかけご飯（350円）でしょう！「あいだの米たまご」「平飼いたまご」「牧草たまご」の3種類のたまごが食べ放題なのです。ご飯のおかわりは有料ですが、最初の1杯は無料で大盛にできるので銘柄の違う3種類の卵の



食べ比べはぜひ試してもらいたいです。

その他のメニューには親鳥を使った親子丼やたまご丼、チキンカツのソースかつ丼、チ

キンカツカレーもあり、これだけのメニューがありながら、なぜかラーメンやチャーハン、うどん、そばまである贅沢ぶりです。販売コーナーにもたまご焼きや鳥の唐揚げ、デザートもロールケーキやプリン、タルトまで豊富にありますよ。

たまご好きや鶏肉好き、それ以外が好きな方もぜひ立ち寄って食べに来てください!!



徒然日記

私は高校生の頃からTHE YELLOW MONKEYのファンでした。

高校の頃はインターネットを見られる環境もなく、学生でお金もないし、なす術がありませんでした。解散の時私は二十歳でした。

それから約15年。去年1月8日、突然の再集結＆アリーナツアー発表。運良くライブ初日のチケットがあたり、号泣しながらのライブ参戦。解散後に発表した曲「フライマル」から始まりました。フライマルは卒業、始まりの意味があります。ライブ中、「一生解散しません！」宣言にまた涙。結局ライブは東京、長野、横浜、山梨、富山へ行ってきました。再結成したときに発表された曲「ALIGHT」の歌詞。

「何よりもここでこうしていることが奇跡と思うんだ 命はいつか絶えるだろう だけど最高の出会いが 奇跡は流れて 力を集めて 一つに集めて 再結成への思いを込めた曲。メンバーや私たちへのメッセージ。」

ライブ初日の「一生解散しません！」宣言にまた涙。

解散してからTHE YELLOW MONKEYを聞かなかった日はありません。アラームだったり、着信音だったり。

またTHE YELLOW MONKEYがある人生が私に待っているなんて想像してなかったです。バラ色の日々です。

今年もまたTHE YELLOW MONKEY聞きながら頑張ります。(AITYMS)

